

アルコニックス株式会社
2025年3月期
決算説明資料

2025年5月23日



INDEX

1. 2025年3月期 決算概要
2. 2026年3月期 通期業績見通し
3. 中期経営計画2024振り返り

会社概要 / Appendix

INDEX

1. 2025年3月期 決算概要
2. 2026年3月期 通期業績見通し
3. 中期経営計画2024振り返り

会社概要 / Appendix

2025年3月期 エグゼクティブ・サマリー



経営環境	▶ 自動車関連は引き続き苦戦、半導体関連はAI需要に牽引されて堅調 ▶ ニッケルは下落基調が続き、アルミ・銅は前期比上昇 ▶ 構造改革により製造セグメントの利益率が改善
2025年3月期 決算	売上高 : 197,004百万円 (前年同期比+12.6%) 営業利益 : 6,919百万円 (同+26.6%) 営業利益率 : 3.5% (同+0.4pt) 経常利益 : 7,528百万円 (同+38.2%) 経常利益率 : 3.8% (同+0.7pt) 当期純利益* : 4,805百万円 (同+200.7%)
2026年3月期 業績見通し	売上高 : 215,000百万円 (2025年3月期比+9.1%) 営業利益 : 8,800百万円 (同+27.2%) 経常利益 : 8,200百万円 (同+8.9%) 当期純利益* : 5,400百万円 (同+12.4%)
配当政策 株主還元策	▶ 前期より中間5円、期末14円(予想+10円)の計19円の増配を実施予定(2025年5月15日開示) 中間配当32円 + 期末配当42円 = 年間74円

*当期純利益 = 親会社に帰属する当期純利益

業績概要 2025年3月期



(百万円)	2024年3月期	2025年3月期	対売上高比率 (%)	増減率 (%)	2025年3月期計画値(通期)	
					通期見通し	進捗率
売上高	174,901	197,004	-	+12.6%	185,000	106.5%
売上総利益	22,921	26,021	13.2%	+13.5%	25,800	100.9%
販売費及び一般管理費	17,457	19,101	9.7%	+9.4%	18,600	102.7%
営業利益	5,463	6,919	3.5%	+26.6%	7,200	96.1%
経常利益	5,447	7,528	3.8%	+38.2%	7,200	104.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,598	4,805	2.4%	+200.7%	4,500	106.8%
1株当たり 当期純利益(円)	53.05	159.31	-	-	148.85	-
EBITDA(参考)	10,253	11,734	6.0%	+14.5%	11,700	100.3%
ROE	2.9%	8.6%	-	-	-	-
ROIC	2.8%	3.9%	-	-	-	-

EBITDA=営業利益 + 減価償却費 + のれんの償却額

ROE = 親会社株主に帰属する当期純利益 ÷ 株主資本 × 100

ROIC = 税引後後営業利益 ÷ (有利子負債 + 株主資本) × 100

※「株主資本」の定義: 連結貸借対照表の「資本金」+「資本剰余金」+「利益剰余金」

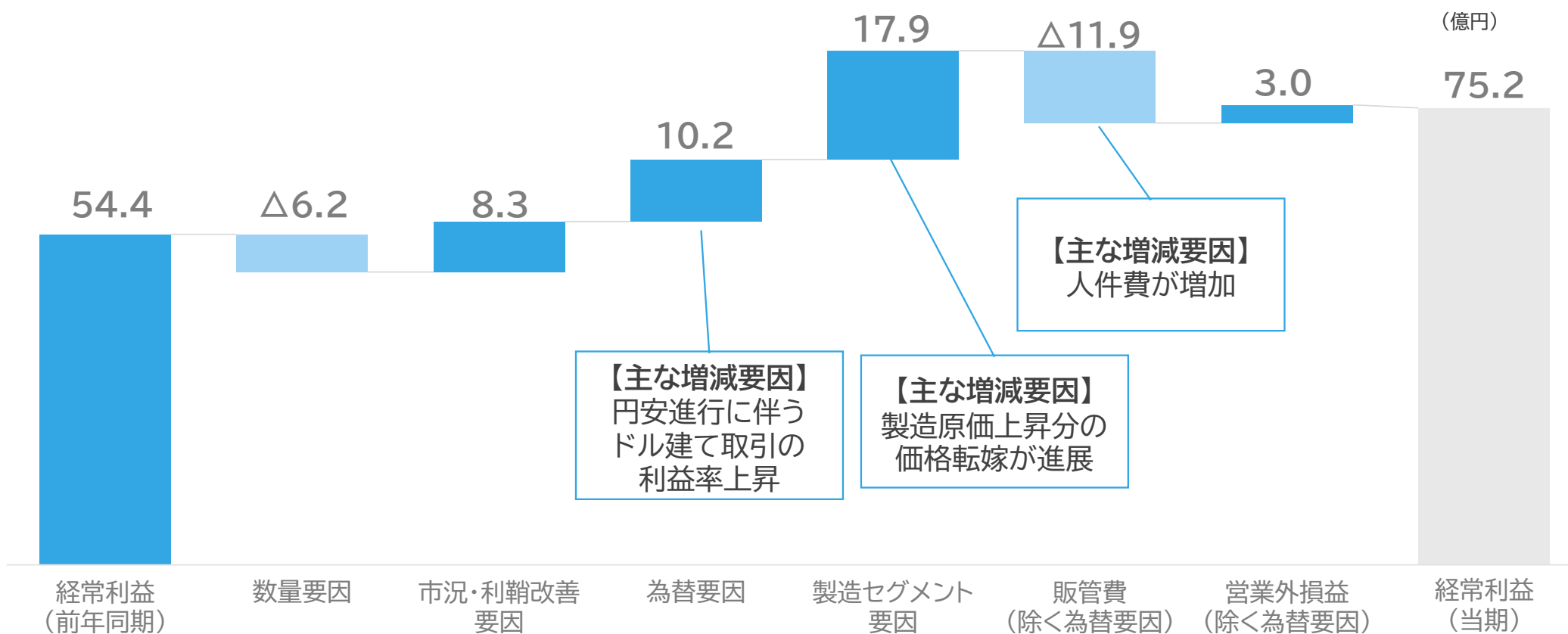
Copyright ©2025 ALCONIX CORPORATION All Rights Reserved.

経常利益の増減分析 前年同期比



※1 小数点第1位以下は切捨表記

※2 端数調整の関係により数値が一致しない箇所がある



セグメント別業績 2025年3月期



※1 増減・端数調整の関係により数値が一致しない箇所がある ※2 売上高は外部顧客に対する売上高を指す

(百万円)		2024年3月期	2025年3月期	構成比	増減額	増減率
商社流通	電子機能材	売上高	30,144	16.3%	+1,910	+6.3%
		セグメント利益	1,740	29.7%	+494	+28.4%
	アルミ銅	売上高	70,561	41.9%	+11,991	+17.0%
		セグメント利益	300	6.5%	+191	+63.9%
	計	売上高	100,705	58.2%	+13,901	+13.8%
		セグメント利益	2,040	36.2%	+686	+33.6%
		利益率	2.0%	2.4%	-	+0.4pt

売上高		セグメント利益
電子機能材	海外における電池関連取引が増加したため、増収	増収要因に加え半導体関連やレアメタルスクラップ取引が伸長し、増益
	アルミおよび銅の地金・スクラップが市況・需要共に好調を維持し、増収	増収要因に加えアルミおよび銅の製品取引も寄与し、増益

セグメント別業績 2025年3月期



※1 増減・端数調整の関係により数値が一致しない箇所がある ※2 売上高は外部顧客に対する売上高を指す

(百万円)		2024年3月期	2025年3月期	構成比	増減額	増減率
製造	装置材料	売上高	42,672	23.3%	+3,158	+7.4%
		セグメント利益	955	21.4%	+654	+68.6%
	金属加工	売上高	31,523	18.6%	+5,042	+16.0%
		セグメント利益	2,465	43.1%	+775	+31.4%
	計	売上高	74,196	41.8%	+8,201	+11.1%
		セグメント利益	3,421	64.4%	+1,430	+41.8%
		利益率	4.6%		+1.3pt	-

売上高		セグメント利益
装置材料	半導体用めっき材料や検査用消耗品の販売が堅調に推移し、増収	カーボンブラシの収益率が改善し、増益
金属加工	半導体製造装置向け部品や二次電池用部品などの需要が堅調に推移し、増収	増収要因に加え銅プレス加工品の収益率が改善し、増益

グループ会社別取扱品目一覧

※売上総利益ベース(前年同期比)
YoY 増加:○ 減少:×



	取扱い グループ会社	自動車 (部品・材料)	半導体	電子材料 電子部品	その他
電子機能材	- アドバンストマテリアルジャパン - ANDEX	- EV/FCV部品材料 - 車載電池用材料 ○	半導体各種材料 ○	- 携帯機器端末部品材料 - IT機器部品材料 - 各種電池材料	特殊鋼素材(レアメタル) ※ニッケル、モリブデン等
アルミ銅	- 林金属 - アルコニックス・三高 - アルミ銅センター - 平和金属	- 電装部品 - 自動車構成部材	リードフレーム用銅条	- コネクタ部品 - プリント基板部品	- 建築資材 - 電気設備部品(ブスバー) - アルミ缶材 - 熱交換器用素材(チタン他) - 医療向けチタン展伸材 ○ - 空調機器向け材料 (アルミ圧延品・伸銅品)
装置材料	- Univertical HD - 東海溶業 - マークテック - 富士カーボン製造所	- 自動車構成部材用めっき材料 - 金型用溶接材料 - ブレーキパッド用カシュー樹脂 - 自動車生産ライン向け 非破壊検査装置／化成品 - 電装部品用モーター部品 ○	半導体用めっき材料 ○	電波吸収体	- 非破壊検査装置／検査用化成品 - マーキング装置 - 電気設備部品(ブスバー) - 電動工具／家電等向けモーター部品
金属加工	- 大川電機製作所 - 大羽精研 - 富士プレス - FUJI ALCONIX Mexico - 富士根産業 - ジュピター工業 - ソーデナガノ - 坂本電機製作所	- パワートレイン向け部品 × - EV車載電池向け部品 ○ - 自動車試作部品	- 製造装置向け部品 ○ - 実装装置向け部品 ○	コネクタ端子部品	- 航空機用部品 - 空調機器向け部品

連結貸借対照表 2025年3月期

- ▶ 流動資産： 商社流通セグメントの取引増加に伴い売上債権・棚卸資産が増加
現金及び預金はCMS活用によるグループ資金効率化推進により縮減
- ▶ 流動負債： アルミ銅セグメントの増収に伴い買入債務が増加および増加運転資金に伴い短期借入金が増加
- ▶ 固定資産： 投資有価証券は縮減継続。北九州再生資源ヤードや買収した坂本電機製作所などの固定資産が増加

資産の部 (百万円)	2024年3月期	2025年3月期	増減額	負債・純資産の部 (百万円)	2024年3月期	2025年3月期	増減額	自己資本比率
流動資産	132,549	144,374	+11,824	負債	116,540	126,321	+9,781	35.4%
現金及び預金	21,471	18,762	△ 2,709	流動負債	89,693	103,196	+13,502	(前期末)
売上債権	56,994	63,291	+6,297	仕入債務	44,768	53,382	+8,614	35.9%
棚卸資産	49,223	56,496	+7,273	短期借入金等	36,872	38,591	+1,719	ネットD/Eレシオ
固定資産	50,340	52,259	+1,918	固定負債	26,846	23,125	△ 3,721	0.5
有形固定資産	31,737	37,374	+5,636	長期借入金等	18,327	15,150	△ 3,176	(前期末)
無形固定資産	3,088	2,995	△ 92	純資産	66,350	70,312	+3,961	0.5
投資その他資産	15,515	11,889	△ 3,625	株主資本	54,304	56,986	+2,681	
総資産	182,890	196,634	+13,743	その他包括利益 合計	11,398	12,670	+1,271	
				負債及び純資産 合計	182,890	196,634	+13,743	

※増減・端数調整の関係により数値が一致しない箇所がある

連結キャッシュ・フロー 2025年3月期



- ▶ 営業CF：運転資金の増加に伴い大幅に減少
- ▶ 投資CF：有形固定資産の取得と坂本電機製作所をM&Aでグループ化し投資額が増加したことにより減少
- ▶ フリーCF：営業CF、投資CFともに減少し大幅に減少
- ▶ 財務CF：運転資金は増加したがCMS活用により短期借入金をコントロールしたことにより減少

(百万円)	2024年3月期	2025年3月期	増減額
現金及び現金同等物の期首残高	25,814	19,721	△ 6,093
営業C/F	15,215	7,003	△ 8,211
運転資本の変動等	7,282	△ 3,217	△ 10,449
投資C/F	△ 2,622	△ 4,705	△ 2,083
有形・無形固定資産取得等	△ 3,444	△ 7,091	△ 3,647
フリーC/F	12,592	2,297	△ 10,295
財務C/F	△ 19,281	△ 4,799	+14,481
換算差額	594	562	△ 32
現金及び現金同等物の増減額	△ 6,093	△ 1,940	+4,153
現金及び現金同等物の期末残高	19,721	17,781	△ 1,940

非鉄金属市況・為替の動向



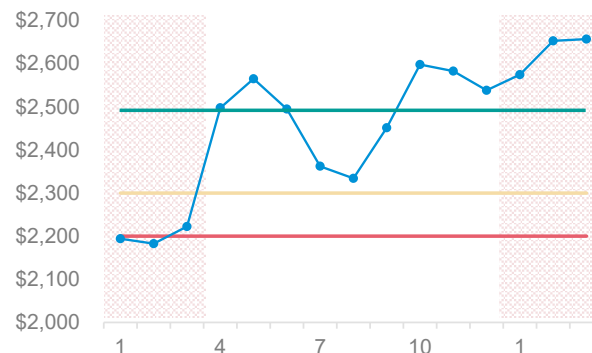
— 2024年3月期予算想定レート
 — 2025年3月期予算想定レート
 — 2026年3月期予算想定レート

	2024年 3月期	2025年3月期			2026年 3月期
	実績平均 値	期初想定 レート (A)	4Q実績 平均値 (B)	差異 (B)-(A)	想定 レート
アルミ ニウム (US\$/MT)	2,202	2,200	2,628	428	2,500
銅 (US\$/MT)	8,362	8,600	9,345	745	9,000
ニッケル (US\$/MT)	19,138	16,500	15,569	△931	15,500
為替 (US\$/円)	144.62	145.00	152.60	7.60	150.00

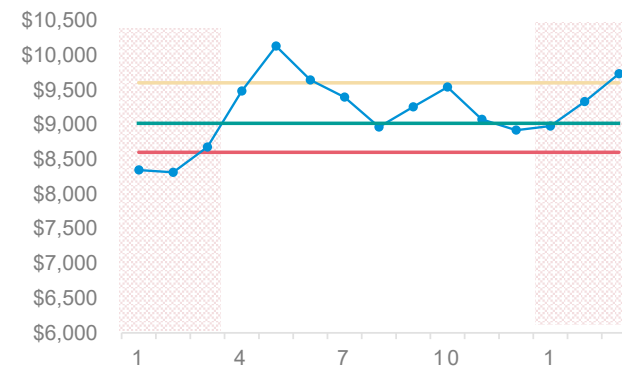
※1 非鉄市況:小数点第1位以下は切捨表記

※2 端数調整の関係により数値が一致しない箇所がある

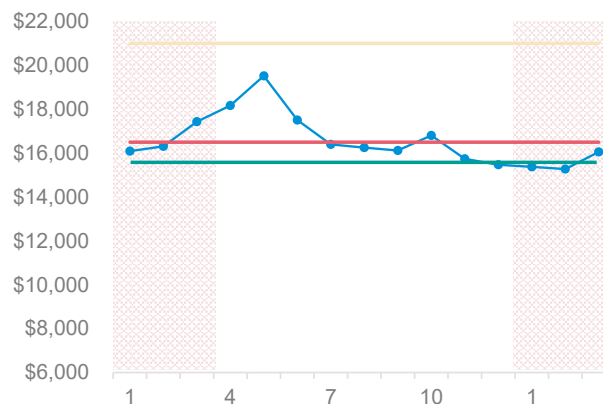
アルミ市況 (US\$/MT)



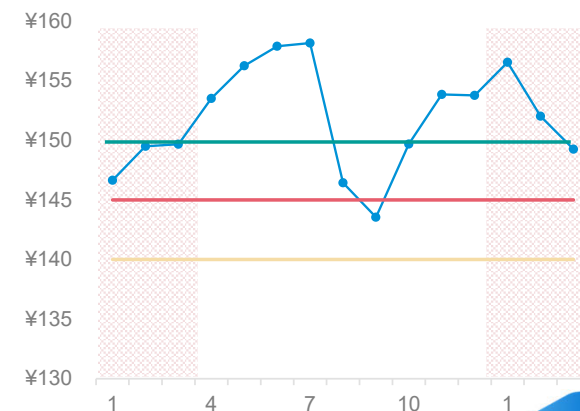
銅市況 (US\$/MT)



ニッケル市況 (US\$/MT)



為替 (US\$/円)



INDEX

1. 2025年3月期 決算概要
2. 2026年3月期 通期業績見通し
3. 中期経営計画2024振り返り

会社概要 / Appendix

2026年3月期 通期業績見通し



(百万円)	2025年3月期 実績 (A)	2026年3月期 通期見通し(B)	2025年3月期(四半期)				増減額 (B)-(A)	増減率 (%)
			1Q	2Q	3Q	4Q		
売上高	197,004	215,000	45,850	49,801	51,175	50,177	+17,995	+9.1%
売上総利益	26,021	29,000	6,384	6,205	6,769	6,661	+2,978	+11.4%
販管費及び一般 管理費	19,101	20,200	4,581	4,556	4,796	5,166	+1,098	+5.8%
営業利益	6,919	8,800	1,802	1,648	1,972	1,495	+1,880	+27.2%
経常利益	7,528	8,200	2,078	1,952	1,325	2,171	+671	+8.9%
親会社株主に帰 属する 当期純利益	4,805	5,400	1,289	1,371	912	1,231	+594	+12.4%
1株当たり 当期純利益(円)	159.31	179.02					-	-
EBITDA (参考)	11,734	13,000	2,989	2,791	3,151	2,805	+1,262	+10.8%
ROE	8.6%	9.2%	【参考】2026年3月期想定レート Al US\$ 2,500/MT Cu US\$ 9,000/MT Ni US\$ 15,500/MT 為替 150円/US\$					
ROIC	3.9%	5.4%						
1株当たり 配当金(円)	74	84	EBITDA=営業利益 + 減価償却費 + のれんの償却額 ROE =親会社株主に帰属する当期純利益÷株主資本×100 ROIC =税引後営業利益÷(有利子負債+株主資本)×100					

※「株主資本」の定義:連結貸借対照表の「資本金」+「資本剰余金」+「利益剰余金」

2026年3月期 通期業績見通し セグメント別



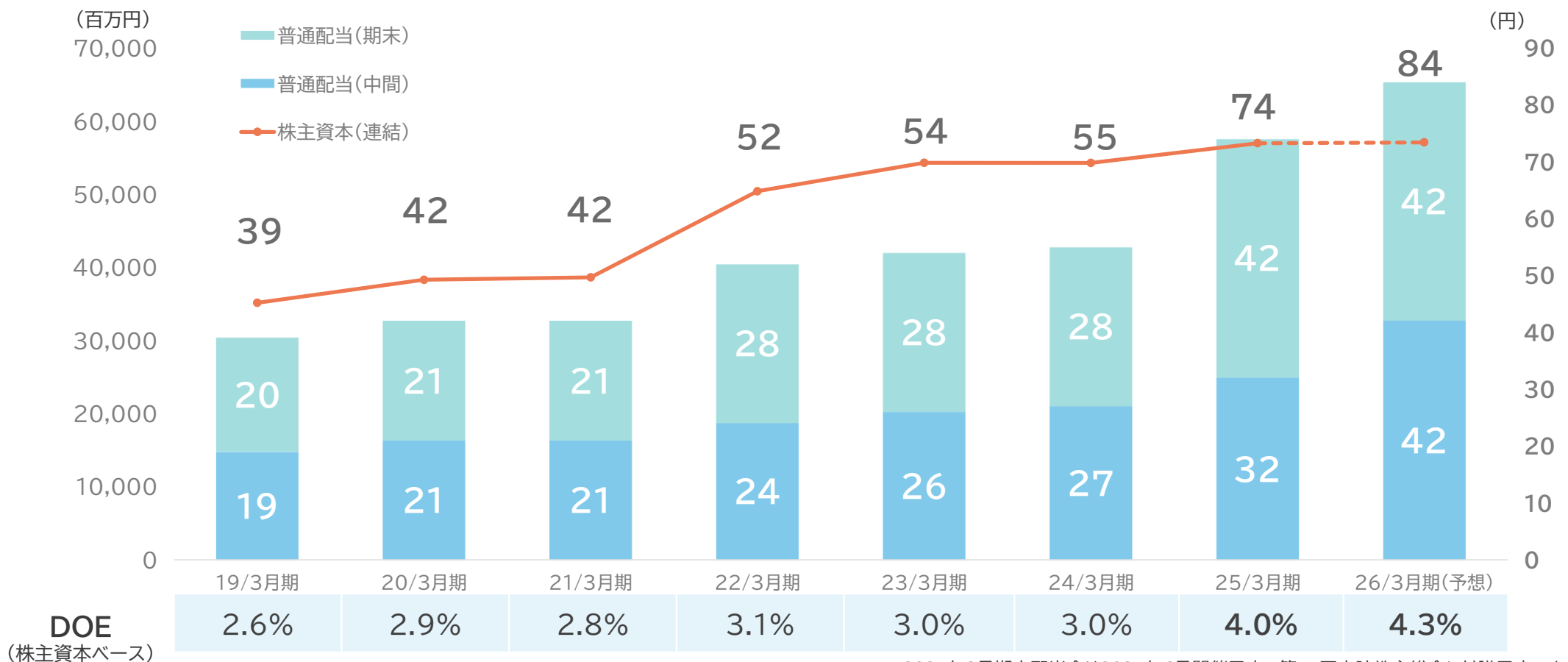
(百万円)		2025年3月期 実績	2026年3月期 見通し	構成比	増減額	増減比率
商社流通	電子機能材	売上高	32,054	15.8%	+1,945	+6.1%
		セグメント利益	2,235	28.0%	+64	+2.9%
	アルミ銅	売上高	82,552	40.9%	+5,447	+6.6%
		セグメント利益	492	6.1%	+7	+1.6%
	計	売上高	114,607	56.7%	+7,392	+6.5%
		セグメント利益	2,727	34.1%	+72	+2.7%
		利益率	2.3%	2.3%	-	-
製造	装置材料	売上高	45,831	23.3%	+4,168	+9.1%
		セグメント利益	1,610	20.7%	+89	+5.6%
	金属加工	売上高	36,566	20.0%	+6,433	+17.6%
		セグメント利益	3,241	45.1%	+458	+14.2%
	計	売上高	82,397	43.3%	+10,602	+12.9%
		セグメント利益	4,851	65.9%	+548	+11.3%
		利益率	5.8%	5.8%	-	-
合計	売上高	197,004	215,000	-	+17,995	+9.1%
	経常利益	7,528	8,200	-	+671	+8.9%
	利益率	3.8%	3.8%	-	-	△0.0pt

※1 増減・端数調整の関係により数値が一致しない箇所がある ※2 売上高は外部顧客に対する売上高を指す

株主還元策



2024年3月期より中間5円、期末14円の計19円増配を予定(期初予想58円)



DOE:株主資本配当率(1株当たりの年間配当額÷1株当たりの株主資本 × 100)
(「株主資本」の定義:資本金+資本剰余金+利益剰余金)

※2025年3月期末配当金は2025年6月開催予定の第44回定時株主総会に付議予定です。

INDEX

1. 2025年3月期 3Q 決算概要
2. 2025年3月期 通期業績見通し
3. 中期経営計画2024振り返り

会社概要 / Appendix

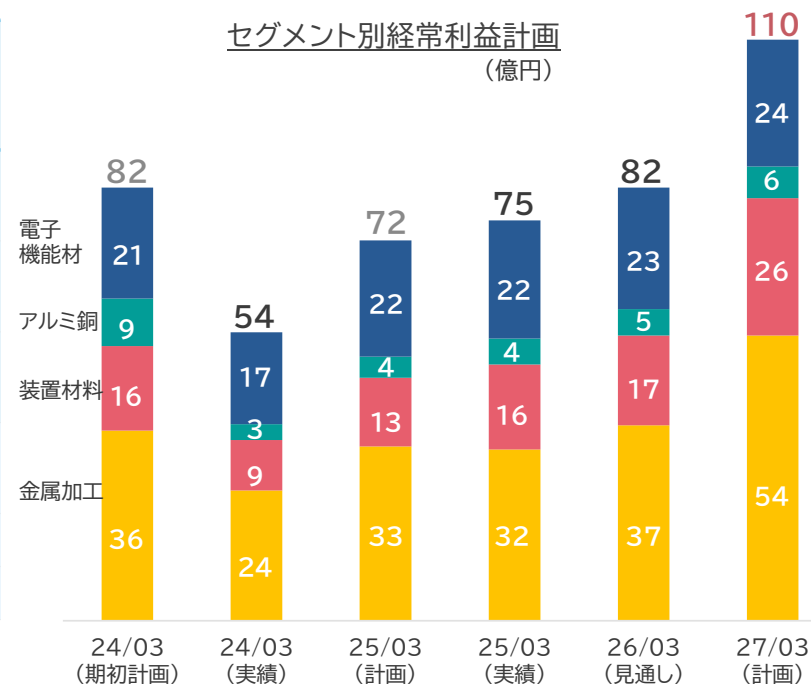
中期経営計画2024振り返り 数値目標の達成状況



- ▶ 数値目標に掲げた「売上高」「経常利益」「EBITDA」「ROE」は達成。

(百万円)	2024年 3月期 期初計画	2024年 3月期 実績	2025年 3月期 計画	2025年 3月期 実績	2026年 3月期 通期見通し	前期比
売上高	186,000	174,901	185,000	197,004	215,000	+17,995
営業利益	8,400	5,463	7,200	6,919	8,800	+1,880
経常利益	8,200	5,447	7,200	7,528	8,200	+671
EBITDA	12,800	10,253	11,700	11,734	13,000	+1,262
ROE	9.8%	2.9%	8.1%	8.6%	9.2%	+0.7pt
ROIC	4.5%	2.8%	4.3%	3.9%	5.4%	+1.5pt

セグメント別経常利益計画
(億円)



外部環境変化を鑑み中期経営計画2024 2027年3月期数値目標の見直しを実施。

【見直し後】2027年3月期計画数値(中計2024計画比/億円)

電子機能材:△2 アルミ銅:△6 装置材料:+1 金属加工:△3

EBITDA=営業利益 + 減価償却費 + のれんの償却額

ROE =親会社株主に帰属する当期純利益÷株主資本×100

ROIC =税引後営業利益÷(有利子負債+株主資本)×100

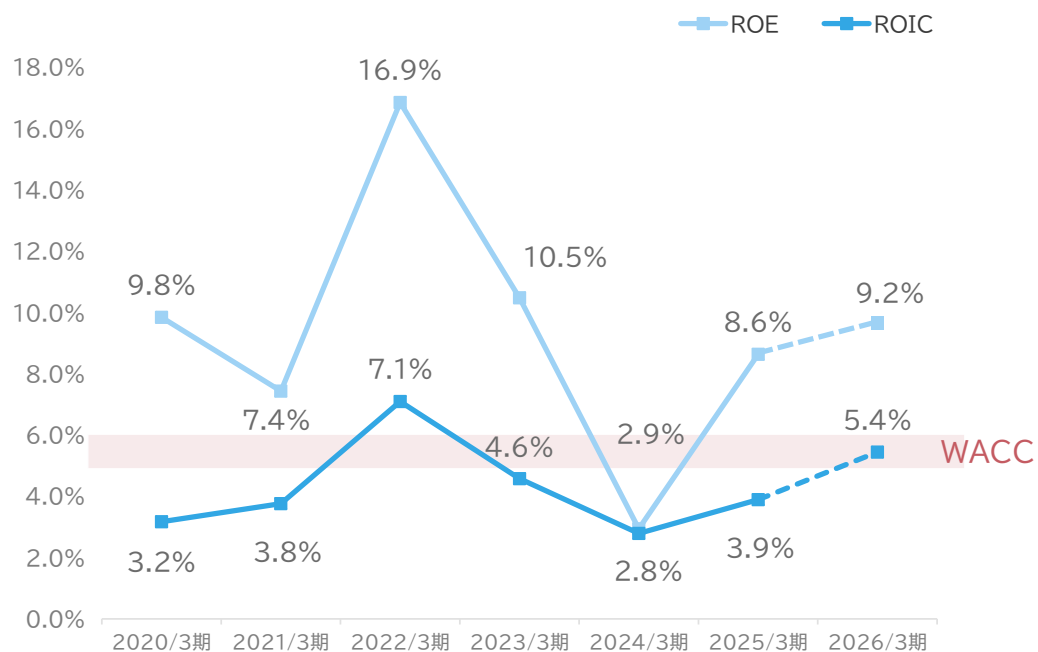
※「株主資本」の定義:連結貸借対照表の「資本金」+「資本剰余金」+「利益剰余金」

現状分析



- 事業ごとの資本収益性を計るROICを指標として採用。
- WACC*は5%半ば程度と認識。

ROEとROICの推移



* 当社試算加重平均資本コスト

※25年3月末時点

【2024年3月期】

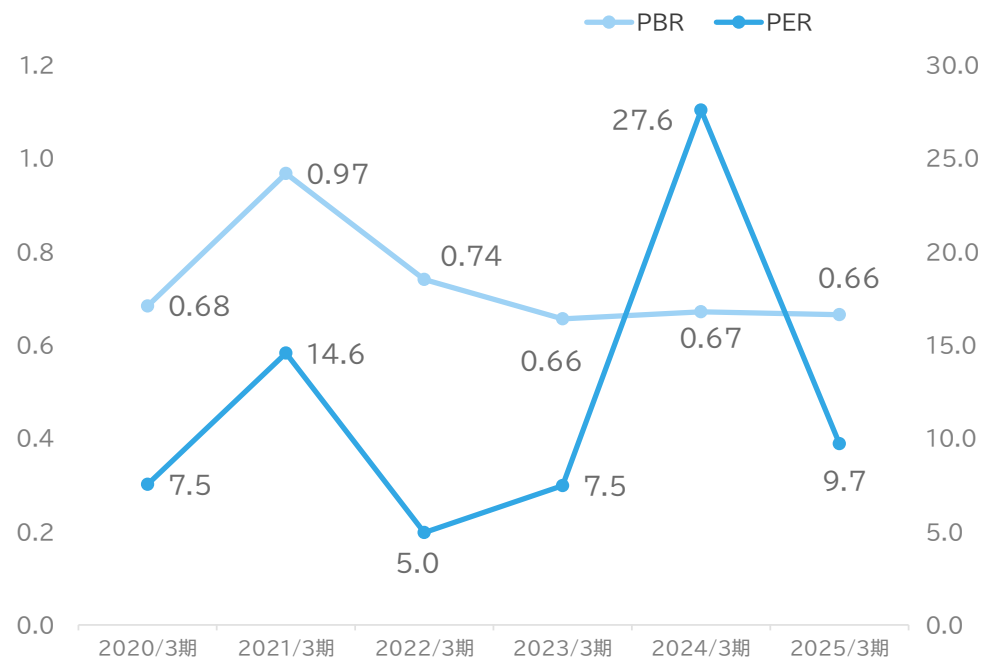
- ・ 中国グループ会社の構造改革費用を計上
- ・ 中国向け債権の貸倒引当金を計上

ROE = 親会社株主に帰属する当期純利益 ÷ 株主資本 × 100

ROIC = 税引後後営業利益 ÷ (有利子負債 + 株主資本) × 100

※「株主資本」の定義: 連結貸借対照表の「資本金」+「資本剰余金」+「利益剰余金」

PBRとPERの推移



INDEX

1. 2025年3月期 2Q 決算概要
2. 2025年3月期 通期業績見通し
3. 中期経営計画2024振り返り

会社概要 / Appendix

会社概要



- 会社名 アルコニックス株式会社
- 本社 東京都千代田区永田町二丁目11番1号 山王パークタワー12階
- 設立 1981年7月1日
- 資本金 5,851百万円(2025年3月末)
- 従業員数 3,253名(連結 2025年3月末)
- 上場証券取引所 東京証券取引所プライム市場（証券コード：3036）
- 事業内容 アルミ、銅、ニッケル、レアメタル・レアアース等の製品並びに原材料等の輸出、輸入及び国内販売および金属加工を中心とした製造業

アルコニックスのプロファイル



1981

総合商社グループの非鉄金属専門商社として創業

2001

総合商社からのMBO・独立した専門商社として出発

2009

製造業のM&Aを開始

こんなところに
「アル」コニックス

注力分野
半導体

注力分野
自動車

航空宇宙

建築

プラント・
化学

注力分野
電子材料・
電子部品

空調

環境・
リサイクル

非鉄金属業界における当社の位置づけ



アルコニックスグループの事業形態



商社流通

電子機能材事業

スマートフォン、車載用電池向け材料や
レアメタル・レアアースの鉱石・地金・製品を取扱う

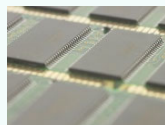
主要な事業領域



IT機器



二次電池
(蓄電池)



半導体・電子部品

商社流通

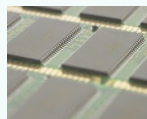
アルミ銅事業

アルミ圧延品/加工品、伸銅品、金属珪素、鉛地金、
アルミ/銅スクラップの取扱いとリサイクル事業を行う

主要な事業領域



自動車



半導体・電子部品



家電製品

製造

装置材料事業

自動車・鉄鋼関連向けに
製造業向け材料および検査装置を製造する

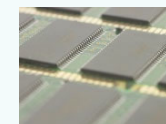
主要な事業領域



自動車



鉄鋼



半導体・電子部品

製造

金属加工事業

半導体・自動車・空調向けに、
各種精密金属加工部品を加工・製造する

主要な事業領域



半導体製造装置
(実装装置含む)



自動車



業務用エアコン

M&Aの考え方 - 方針 -

- 事業承継型M&Aでモノづくり企業の再編統合や事業を再構築することで技術を承継し継続的な成長を後押しする
- 補完型M&Aで一気通貫のバリューチェーンを構築する
- 精密金属加工という共通性と地理的な分散を有効活用し「モビリティ」「半導体」という戦略的成長投資分野においてグループとしての受注機会を最大化する

アルコニックス流 M&Aの7つの方針

1. 飛び地にはいかない=自社グループ事業と関連あるモノづくりの技術(Technology)をもつ企業を選択する
2. 陳腐化しないニッチ(Niche)な分野で強みをもつ企業を選択する
3. 事業再生案件には介入しない
4. 対象企業の個としての成長(Growth)を重視し、成長過程のなかでグループシナジーを見つけ出す
5. 加工する機械や設備などを調査し、次なる成長(Growth)への糧を見出す
6. オーナーの人柄、経営に対する姿勢を十分に理解する
7. 基本的には株式を100%買い取る

事業承継型 M&A

グループ間の技術者交流や協業の促進
経営資源の最適化・投資余力の確保

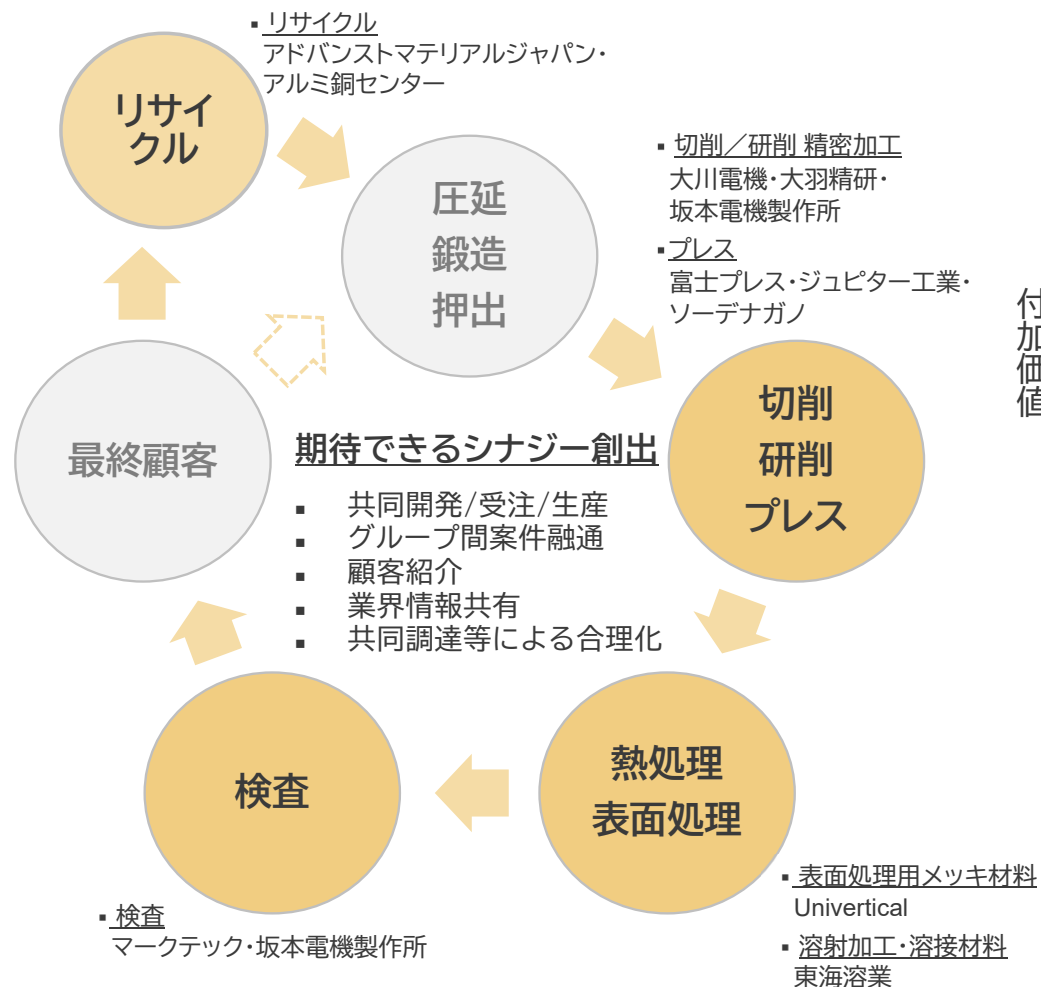
高付加価値製品の技術承継で持続的に稼げる企業へ
設備や人材へ投資することにより成長能力を底上げ

日本のモノづくりへの貢献

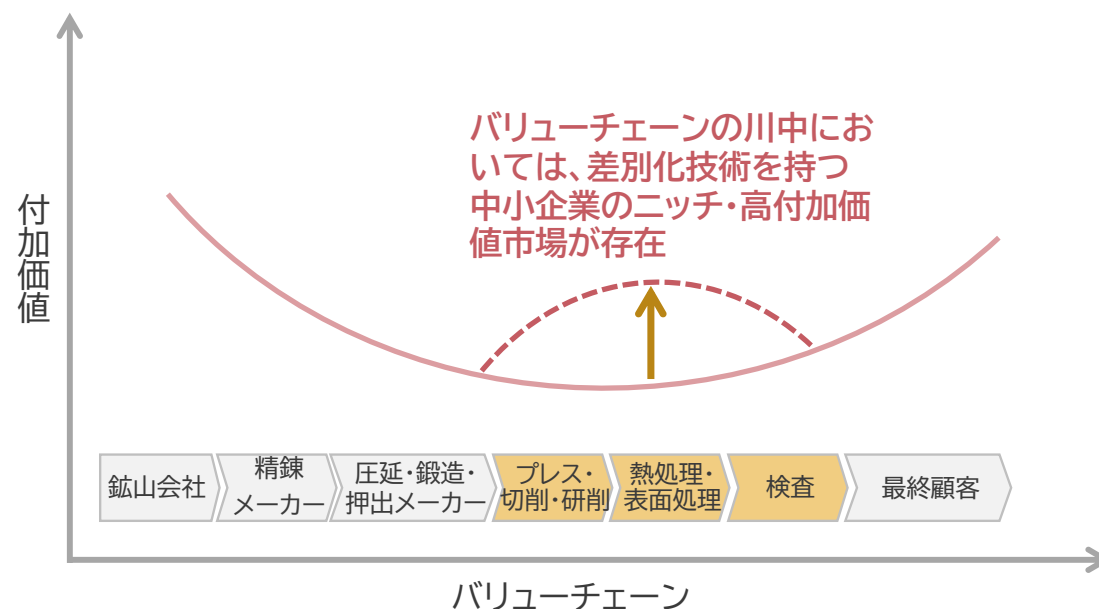
M&Aの考え方 - 補完型M&A① -

補完型 M&A

① 金属加工バリューチェーンを補完(垂直型)



金属加工バリューチェーンにおける付加価値

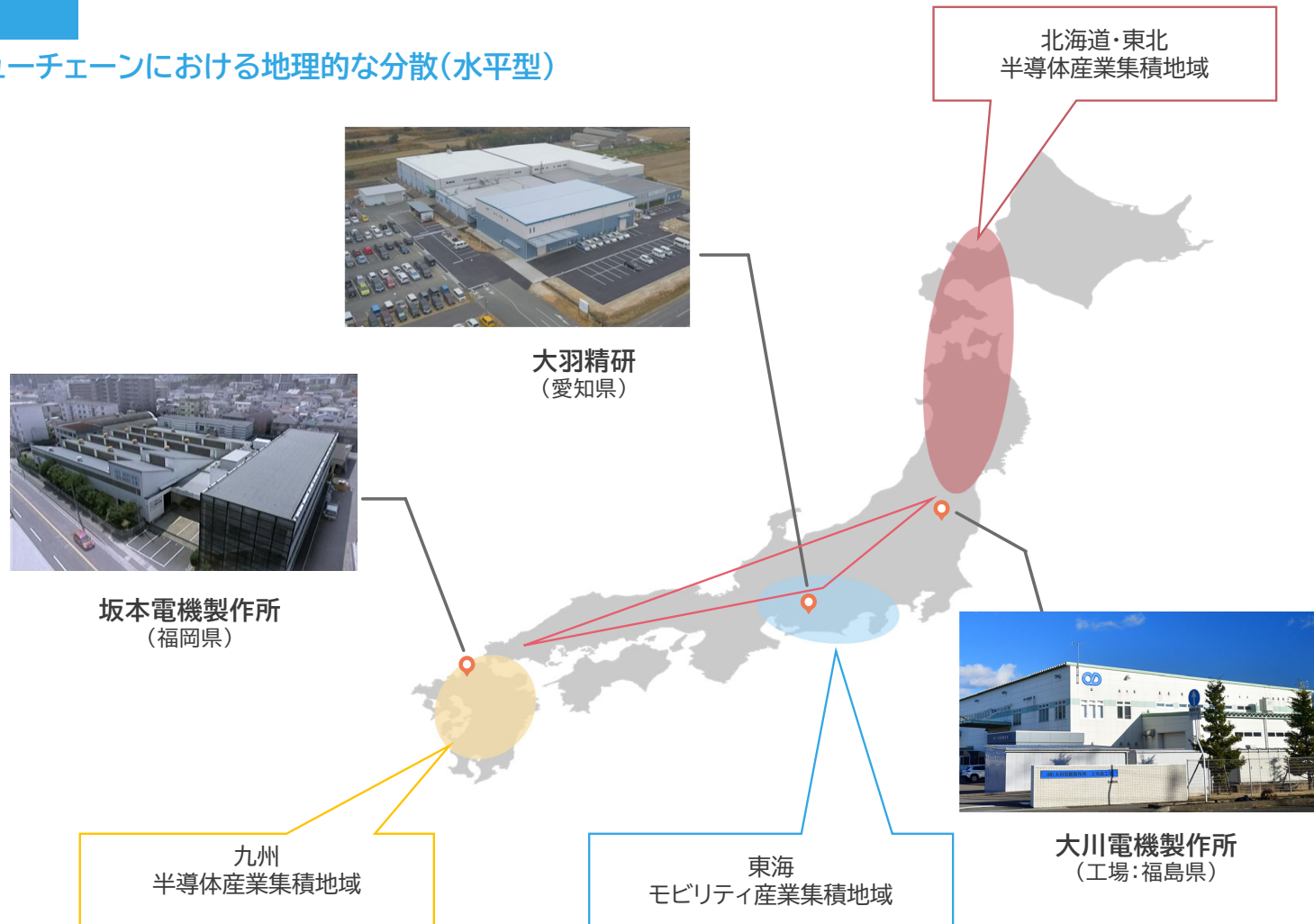


アルコニックスグループ内でバリューチェーンを構築し
複数ステップを自社に取り込み、利益の取りこぼしを極小化する

M&Aの考え方 - 補完型M&A② -

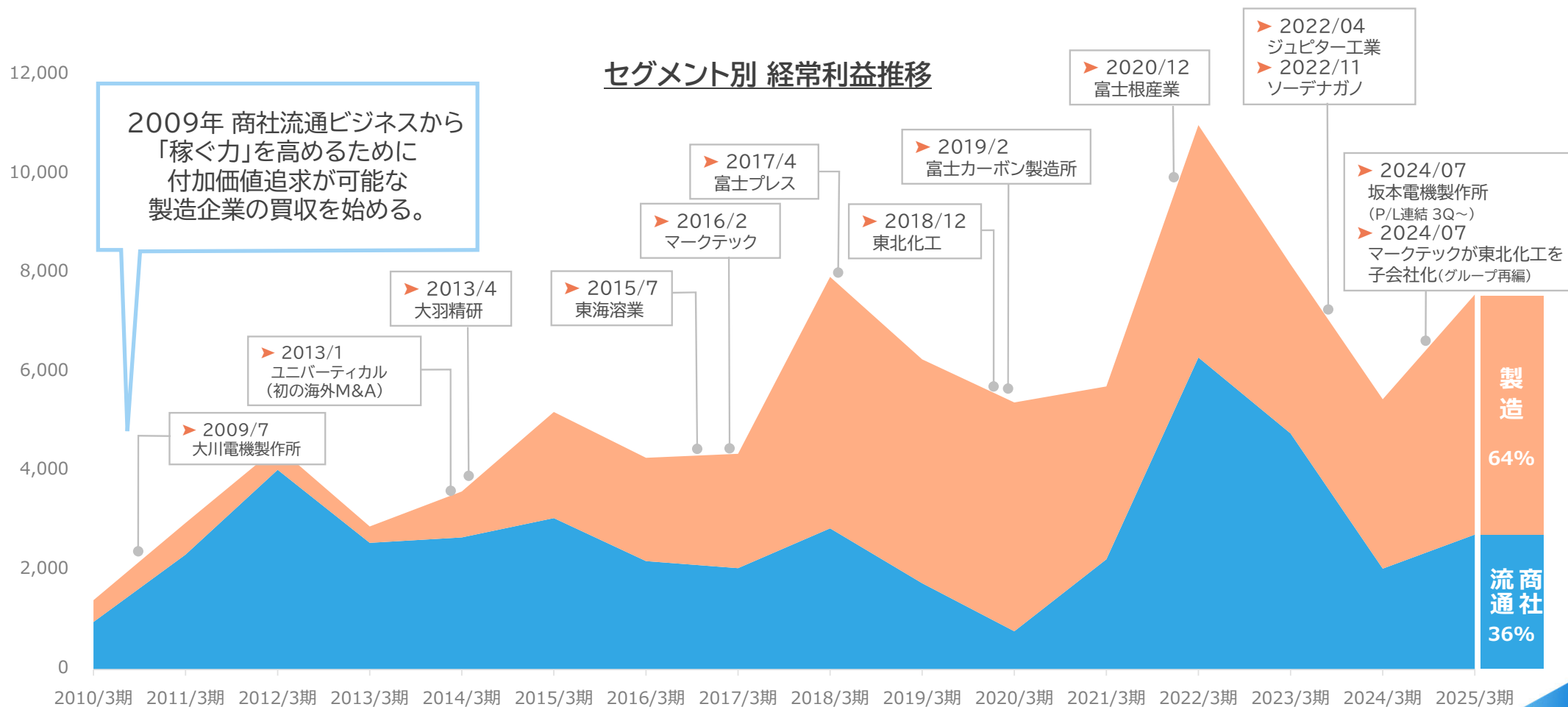
補完型 M&A

② 金属加工バリューチェーンにおける地理的な分散(水平型)



M&Aにより製造セグメントが第2の柱に成長

非鉄金属取引主体の祖業 商社流通ビジネスを軸に「稼ぐ力」を高めるため
業容拡大と付加価値追求を目的として製造会社を次々を買収。第2の事業の柱として築く



CVC（コーポレートベンチャーキャピタル）

従来のM&Aに加え、2021年8月CVCを設立。

アーリー・ミドルステージを中心に素材・モノづくり分野の有望ベンチャー企業へ投資



当社CVCの 特徴

商社機能と製造機能の両面からのハンズオン支援
販売・調達、開発・製造・実証など幅広い分野で事業育成を支援



投資先 事業領域

| 素材(Material)

半導体、電子材料、車載関連を中心とした新素材

・カーボンナノチューブ ・発泡金属 ・電池材料 ・磁性材料

| モノづくり(Manufacturing)

新たなイノベーションをもたらす製造・検査技術や資源循環型社会に貢献するリサイクル技術

・AI/ロボティクス ・マテリアル インフォマティクス ・自動外観検査装置 ・自動搬送ロボット
・金属リサイクル ・3Dプリンター ・水素発生装置 ・ドローン

投資実績

運用資産 3,000百万円
投資実績 9件(2025年3月末現在)

 Novel Crystal Technology, Inc.

LINKWIZ
Robotics & Partners



Gaianixx

サステナビリティ推進の進捗状況

■ 現状スコアとKPI・目標

		~24年3月期	25年3月期	27年3月期KPI/目標
H	【女性管理職比率】	6.4%	6.8%	10.0%
	【教育研修費/人】	7.9万円	11.9万円	18.0万円
		15.5h	18.6h	18.6h以上
		(いずれも単体ベース)		
E S G	当社グループへの外部評価の推移			当社のありたい姿
	【FTSE ESG総合スコア】*()内は業界平均値からの上下	6月評価受領予定		
	0.6(-) → 0.8(-) → 1.1(-) ▶ 1.6(-)	(平均業種別スコア46-50)		
	(20/3期) (21/3期) (22/3期) (24/3年期)			
E S G	【EcoVadis 総合得点】	31	39	44
		(23/3期)	(24/3期)	(25/3期)
	【CDP スコア実績】	D	C	B
		(23/3期 初解答)	(24/3期)	(25/3期)
		業界平均以上		
		平均業種別スコア以上		
		B以上を目指す		

サステナビリティの取り組み – 人的資本経営の基盤強化に向けたアプローチ –

H

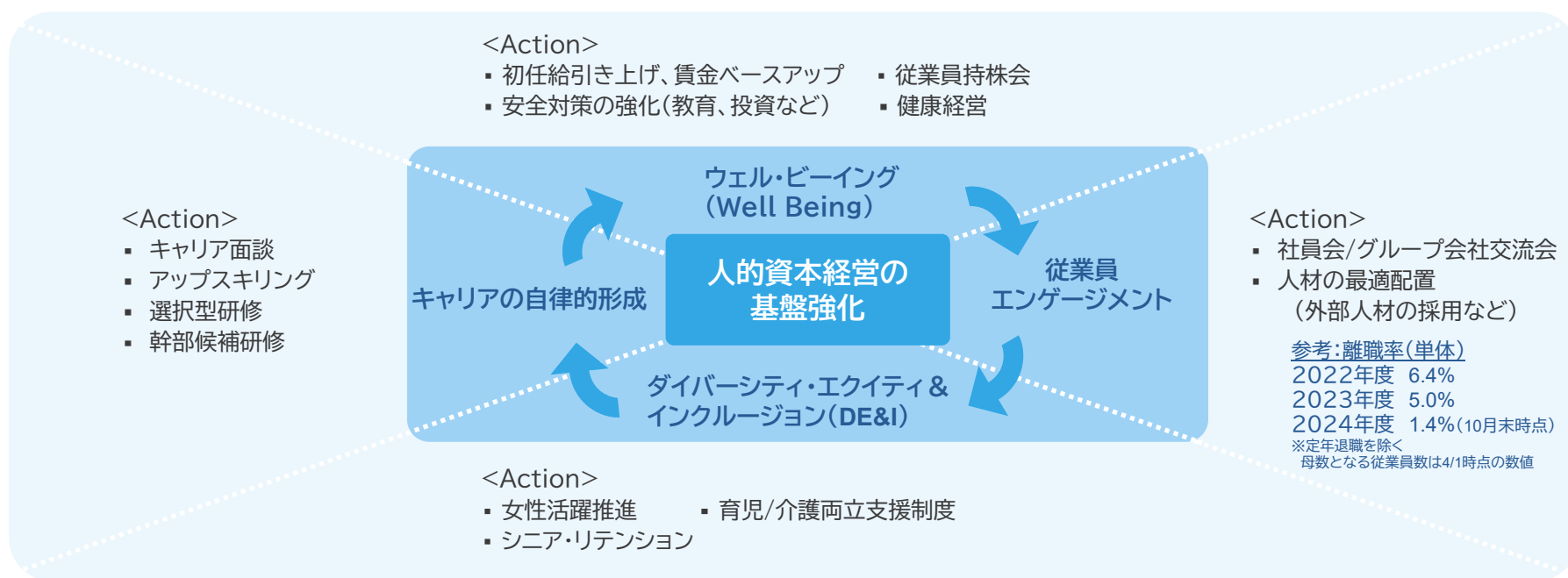


アルコニックスグループの8つの「P」

教育

給与

機会



貴重な人財の確保・定着、付加価値を生み出せる人財パフォーマンスの最大化

「夢を描き、形にする」=新たな可能性に気づき、具現化する

シェアードリサーチ社によるアナリストレポート

中立性客観性を重視し、第三者視点での調査、分析に基づいて作成されたシェアードリサーチ社のアナリストレポートを公開しています。事業構造や競争環境、優位性等の網羅的な内容となっており、投資家の皆様に当社へのご理解を深めていただき、投資判断のご参考としていただけますと幸いです。

アルコニックス株式会社 | Shared Research

【DISCLAIMER】

本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは異なる結果となることがあることをご承知おきください。

IRに関するお問合せ先

アルコニックス株式会社 IR広報部

ir@alconix.com